

令和元年9月 南魚沼市議会定例会
一般質問順位表

質問順位	議席番号	質問者	日程
1	15	寺口友彦	9日 (月)
2	11	清塚武敏	
3	14	佐藤剛	
4	1	大平剛	
5	3	目黒哲也	
6	4	吉田光利	
7	22	阿部久夫	10日 (火)
8	7	勝又貞夫	
9	2	梅沢道男	
10	6	田中せつ子	
11	12	鈴木一	
12	8	永井拓三	11日 (水)
13	9	桑原圭美	
14	13	岡村雅夫	
15	5	中沢道夫	
16	16	中沢一博	
計		16名	

【質問方式】（いずれも質問制限時間は答弁時間を含め 60 分）

一括質問一括答弁方式： 全質問項目を一括して行い、答弁も一括して行う。
（初回は登壇して行い、質問回数は 3 回まで。）

一問一答方式： 質問及び答弁を一問ずつ行う。（ただし初回の質問は、登壇して最初の質問項目のみをまとめて行う。質問回数に制限なし）

複合型一問一答方式： 一問一答方式において、質問大項目の最初の質問はまとめて行い、以降は一問ずつ行う。

質問 順位	質問 内 容
3	<p>1 自立に向けた特別支援教育とその後の支援について</p>
議席	<p>(1) 特別支援教育の自立、社会参加に向けた教育は卒業後生かされているか。</p>
1 4	<p>①総合支援学校高等部卒業後の進路状況は。 ②就労支援、就労移行等施設への希望を満たせる状況になっているか。</p>
佐 藤 剛	<p>(2) 共生社会実現に向けた就労への支援と環境整備を。 ①就労移行支援からの一般就労の移行率と移行後の支援は。 ②就労継続支援 B 型施設での作業の創出と工賃、一般就労の移行率の現状は。 ③障がい者雇用の促進に向け、障がい者それぞれの状況、希望にあう就労または作業のために、行政の役割として施設と企業の間に入り調整やマッチングを図ることも必要でないか。</p>
（一問一答方式）	<p>2 農地保全と土地利用の両立で地方創生の推進を</p> <p>(1) 昨年 12 月、県から示された「県営かんがい排水事業等の実施地区での受益地の除外に係る手続きの整理」は農振除外のチャンスとなるか。</p> <p>(2) 基幹病院周辺の一部を受益地から外し農振除外の可能性をつくりながら、産業振興、雇用創出、生活環境の充実に向けられないか。</p> <p>(3) 農転権限移譲を受け、農振除外のための具体的計画の呼び水にできないか。</p> <p>(4) 「総合計画後期計画」、「総合戦略」及び「都市計画マスタープラン」の改訂も迫っているが、改定計画に農地保全と土地利用の両立による地域活性化を計画、施策として掲げ企業の進出を促し、農振地域での必要な土地利用を進める必要があるのではないか。</p>

質問 順位	質 問 内 容
4	街づくりにおけるバリアフリーについて
議席	
1	(1) 市内施設、道路等におけるバリアフリー化の進捗状況と今後の方針は。
	(2) 多目的トイレの整備状況と今後の見通しは。
	(3) 南魚沼市店舗バリアフリー改装工事補助金の状況と今後の継続、拡充について伺う。
大	
平	
剛	

(一問一答方式)

質問 順位	質問 内 容
5	南魚沼市のガストロノミー振興について
議 席	
3	
目 黒 哲 也 (一 問 一 答 方 式)	<p>来月 10 月 1 日より 12 月 31 日の 3 か月間にかけて、「新潟県・庄内エリアdestinationキャンペーン」が展開される。両地域に共通する「食」「酒」等の魅力を中心に、食を育んだ歴史や伝統、暮らし、風土といった背景と食で地域のストーリーを伝える仕組みづくりを日本海美食旅（日本海ガストロノミー）として進めていくものである。</p> <p>現代の旅のニーズは、「モノ」を推し、売る時代から、わざわざ旅してまで食べたい「コト」と「トキ」に変わってきている。当市は、南魚沼産コシヒカリの産地であることは言うまでもなく、雪と共存する食文化を持ち、たくさんの発酵食、保存食が今も生活に息づく質の高い食文化がある。</p> <p>このdestinationキャンペーンの機会を最大限に生かし、その効果を短期的なものではなく、その後に続くものとしていくことが重要であり、官民が一体となった体制を構築し、効果的な事業展開に取り組むことで、このdestinationキャンペーンを契機としたさらなる交流人口の拡大につなげていくチャンスの時であると考えます。</p> <p>当市の課題は、磨かれず眠っている素材があることと磨かれた観光素材に関連する産業に結びつけること、そして地域の総合プロデューサー的な人材群であると考えます。</p> <p>そこで、以下について市長の考えを伺う。</p> <p>(1) 南魚沼市におけるガストロノミーの展開はいかに。</p> <p>(2) 観光に必要とされる人材群とその育成はいかに。</p> <p>(3) 観光振興を展開していく組織体制はいかに。</p> <p>(4) 六日町駅前ロータリーの利便性向上はいかに。</p>

質問 順位	質問 内 容
6	1 G A P（農業生産工程管理）の普及と拡大に向けた取り組みについて
議席	
4	
吉 田 光 利	<p>南魚沼コシヒカリを代表とした南魚沼産農産物は先人たちの長年のご苦労から南魚沼ブランドを築き上げ全国的に知らしめた。しかしながら、取り巻く環境はおいしいことは当たり前となり、全国的な競争はますます激化し、少し油断をすると容赦なく市場の評価は下がる。また、T P P・E P Aなど、海外との経済連携協定に備えることも大切であり、大きな課題と思う。市長の6月議会の所信表明でも示されているG A Pへの取り組みによる安全・安心の差別化が将来にわたり絶対必要と考える。そこで以下について市長の所見を伺う。</p> <p>(1) 南魚沼市管内の認証取得実績と申請状況はどうか。</p> <p>(2) 普及に向けた推進会議の立ち上げ成果と手応えはどうか。</p> <p>(3) 将来のブランド力向上と拡販に向け、認証取得前後への最大限のアピールと支援が必要と思うが、どうか。</p>
(複 合 型 一 問 一 答 方 式)	<p>2 生活困窮者への支援について</p> <p>生活困窮者への支援については、個人情報的なこともあり難しい事業であるが、市としても多額の予算を計上し、きめ細かく対応していることは理解している。限られた財源・スタッフの下、より知恵を出した自立促進の取り組みが必要と考える。そこで以下について市長の所見を伺う。</p> <p>(1) 生活保護世帯、被保護人員が年々増加傾向にあるが、どのように分析しているか。</p> <p>(2) 生活困窮者自立支援事業の支援効果はどのようにになっているか。</p> <p>(3) 改正子どもの貧困対策推進法に対し、南魚沼市の取り組みはどうか。</p>

質問 順位	質問 内 容
7	<p>1 第二上田小学校の統合に係る今後の取り組みは</p>
議席	
22	
阿 部 久 夫	<p>全国的にも学校の統廃合が相次ぎ、廃校が増加している。毎年500校前後が廃校に至り、その70%が活用され、未活用が30%とされている。</p> <p>学校統合は、少子化に伴う児童の減少によるもので、残念ながら止めようもなく、また子どもたちの教育環境を考えると妥当な選択であると考えます。</p> <p>しかしながら、学校は110年以上にわたり、地域コミュニティや防災などさまざまな拠点機能を担ってきたことも忘れてはならない。</p> <p>上田地区以降も統合を進めていかなければならないなかで、多くの地域住民は旧校舎の有効活用や地域が疲弊することのない、さらなる地域の発展・活性化を願っている。</p> <p>そこで、市長に見解を伺う。</p> <p>(1) 旧校舎施設の活用に係る現状と課題は。 (2) 地域との連携はどのように進めていくのか。 (3) 災害や防災の対応はどのように把握しているのか。 (4) 統合による児童生徒への影響はないか。</p>
(一問一答方式)	<p>2 登川河川公園の看板に工夫や整備を</p> <p>地球温暖化による影響なのか、毎年猛暑となり、多くの人たちが河川公園に遊びに来ていただいております、ありがたいことである。</p> <p>しかし、マナーが悪い人も多く、ゴミを捨てる人や飲酒運転をする人もいると聞いている。</p> <p>これからも多くの人からキャンプなど、遊びに来ていただくためには分かりやすく理解しやすい看板や安心して楽しめる公園内の整備が必要である。</p> <p>1人でも多くの人から当市に訪れていただくためにも、防護柵の設定・公園内の樹木の剪定・トイレの拡大・駐車場整備など公園の整備が必要不可欠である。</p> <p>所見を伺う。</p>

質問 順位	質 問 内 容
8	<p>1 ドライブレコーダー・防犯カメラについて</p>
議席	
7	
勝 又 貞 夫	<p>毎日のテレビ報道を見て分かる通り、ドライブレコーダーや防犯カメラの設置は、時代の趨勢でもある。南魚沼市の公用車のドライブレコーダーや、公共施設の防犯カメラの設置は進んでいるか。せめて通学・通園用のバスには優先的に設置するべきであると思うがいかがか。</p> <p>2 身を切る改革について</p> <p>8月に発表された国の人事院勧告は、6年連続の引き上げとなった。南魚沼市では、これまで給与については国に準ずるという考え方で、職員の給与改定を行なってきたが、今年も国準拠の考え方に変わりはないか。</p> <p>新聞やニュースで報道された通り、新潟県は財政難を理由に、身を切る改革へと一歩踏み出した。我が南魚沼市の苦しい財政状況を考えれば、この県の動きを見習うべきではないか。</p> <p>3 美術品の管理について</p> <p>南魚沼市が所蔵している美術品の管理は適切か。</p>
（一問一答方式）	

質 問 順 位	質 問 内 容
9	<p>1 骨髄等提供ドナー助成制度の導入について</p> <p>白血病等の治療には骨髄移植等が有効とされているが、安定的な移植の実施にはドナー登録者の増加が不可欠である。県内においても、20市中、12市で骨髄バンクドナーに対する助成制度が導入されている。当市においても早期に実施すべきと考えるが、考えを伺う。</p> <p>2 南魚沼市の防災対策と県原子力災害広域避難計画に対する評価について</p> <p>(1) 県原子力災害広域避難計画については、3月議会で「はっきり言ってまとまるわけがない。まとめるとしたら、我々が文句を言います、絶対。」との答弁であったが、6月議会では「市町村の意見のある程度反映・修正したもので、一定の評価はしたい。」とその評価が大きく変わってきているが、その根拠は何か伺う。</p> <p>(2) 南魚沼市における防災行政無線体制では、原子力災害時や豪雨災害時等の警報伝達、避難勧告、避難指示等の情報伝達対応には十分といえない。</p> <p>同報系、移動系を含めた体制の整備とともに、住基システムと連動したUTM座標系地図システム等の整備による、県や県消防本部、自衛隊との連携も可能な体制整備を図ることが急務と考えるが、考えを伺う。</p>
議席	
2	
梅 沢 道 男 (一問一答方式)	

質問 順位	質問 内 容
13	新学習指導要領実施後の学習支援について
議席	
9	<p>過去の質問で、来年度から実施される新学習指導要領実施後、先生方も子どもたちも大変苦勞するだろうと話した。</p>
桑 原 圭 美 （ 一 問 一 答 方 式 ）	<p>総務文教委員会では、新しい時代に向けて画期的な取り組みをしている杉並区と常総市を視察したが、それはすぐに実行したくなるような意義ある内容であった。新学習指導要領実施後、さらに加速すると予想されるのは、「つまずきの放置」と「学び残し」である。</p> <p>この部分への対応は、子どもたちの将来に関わってくる重要な課題だと考える。来年度以降、どのような学習支援を行っていくのか。</p> <p>(1) 新要領実施による遅れがちな子どもに対するケアをどう考えているか。</p> <p>(2) ①土曜日学習をさらに充実させ、放課後の補習教室を行うべきではないか。</p> <p style="padding-left: 40px;">②補習教室を実施する場合、人材確保をどうするか。</p> <p>(3) 学童保育は単なる子どもの預かり場ではなく、放課後補習教室のような学習支援と連携させ、あくまでも基礎学力の向上を目指すべきではないか。</p> <p>(4) 子どもたちの将来のための学習支援である。大胆な予算確保が必要ではないか。</p>

質問 順位	質 問 内 容
1 4	新ごみ処理施設について
議 席	
1 3	
岡 村 雅 夫 (一 問 一 答 方 式)	<p>私は平成 27 年 6 月以来、新ごみ処理施設建設・ごみ政策について 12 回質問をしてきた。最近は新ごみ処理施設建設地の決定が暗礁に乗り上げていることを指摘している。</p> <p>市長は「湯沢町・南魚沼市・魚沼市」議会議員協議会総会の挨拶で「建設地の選定結果が出ていないで迷惑をかけている。職を賭して頑張る」。今定例会の所信表明には「5 月に周辺集落区長との意見交換で、地元協議会の立ち上げは困難との意見をいただいている、意見集約の方法などについて検討を重ねている状況」とある。</p> <p>(1) あくまでも国際大学用地内として進めていくつもりか伺う。 (2) 同意を得る方法は当初から示さなかったが、どうまとめようとしているか伺う。 (3) 5 月 14 日の入札で「循環型社会形成推進地域計画策定業務委託」を、(株)環境デザイン設計事務所が落札した。改めて入札がされた理由と業務内容を伺う。 (4) 新ごみ処理施設建設に当たって、決定しているとしている内容を伺う。 (5) 2 市 1 町で新ごみ処理施設建設が取り組まれて 6 年が経つ。作業部会と検討委員会で決定されたことが、決定したがごとく、ごみ政策の根本が語られずに進んでいる。</p> <p>パリ協定、廃プラごみ・マイクロプラスチック問題等が大きく報じられ、2050 年には、CO₂実質ゼロが唱えられているのに、国は従来型の広域処理、大型焼却炉中心のごみ焼却政策を押しつける構えだ。高度化・大型化された焼却施設は、建設費、修繕費等も多大で、一度建設してしまえば、長期にわたって大きな住民負担となる。地球温暖化に拍車をかけ、住民に多大な負担をもたらす焼却依存から脱却し、住民と行政の協働のもとにごみの大幅削減と資源化に踏み出すために、全国の先進的な実践を参考にしながら議論する必要があると考えるが所見を伺う。</p>

質問 順位	質 問 内 容
15	1 10月から実施される保育料の無償化について市長の見解を伺う
議席	
5	
中 沢 道 夫 (一問一答方式)	<p>(1) 政府は今回の無償化の財源に消費税増税分を充てるとしているが、低所得者ほど負担の重い消費税は、財源として相応しくないと思うが、市長の認識を伺う。</p> <p>(2) 給食費が実費徴収されるが、子育て支援のためにも無償化にする考えはないか、市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 2020年度からは無償化の費用が全額市の負担となる。これによって民営化が加速する危惧があるが、市長の見解を伺う。</p> <p>2 統一的な基準による財務書類の公表について伺う</p> <p>平成29年度分が6月に完成したようだが、議員には知らされなかった。この点をどう受け止めているか、市長の見解を伺う。</p>

